

# 提供者の意思をかなえる 院内体制づくり

今、県内各地の病院で、患者や家族の意思をかなえる院内コーディネーター(院内Co)の育成が急がれています。院内Coの仕事、各病院で活躍する院内Coのレポートを紹介します。

## 院内Coってどんな仕事?

院内Coの仕事は、大きく分けて2つあります。1つは院内のシステム構築、もう1つは臓器提供症例への対応です。この2つを円滑に機能させ、患者と家族の意思をかなえること。これが院内Coの最大の仕事です。

### <院内システムの構築>

- 臓器提供意思抽出システムの策定
- 病院職員の教育と院内(地域)への普及啓発
- 連絡システムの構築
- 臓器提供マニュアルの策定

### <臓器提供症例への対応>

- 外部機関との連絡調整
- 手術部や検査部との連絡など、各部署との連携
- 主治医や担当ナースのサポート
- 提供者家族へのサポート



### 院内Coレポート1

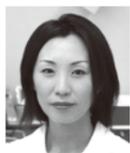
新潟市民病院 腎臓リウマチ科  
医師 長谷川尚

当院は救命救急・循環器病・脳卒中センター(救命センター)を併設しており、第三次救急医療を担っています。数多くの重症患者を受け入れています。救命で済まずに不幸な転帰をたどる患者さんも少なくありません。このような患者さん、あるいはその家族の中には、臓器提供の意思を持っている方がいると考えられますが、実際には、そのような臓器提供の意思を導き出すことは決して容易ではありません。

当院では新潟県臓器移植コーディネーターを交えて、医師2名、看護師4名、臨床工学技士1名からなる院内移植コーディネーターが毎月ミーティングを行い、提供者の意思をかなえる院内体制についての話し合いを重ねています。そんな話し合いを経て、院内臓器移植勉強会の企画、啓蒙を目的としたポスターの貼付、意思表示カードの備え付け、患者さん

が救命センターに入院する際、臓器提供の意思表示カードの所持の有無、および家族の臓器提供の意思を予め質問表に記載してもらい、などの活動を行ってきました。臓器移植法の改正を契機に、臓器提供を身近なこととして考えている人が増加してきたこともあってか、近年では、家族が臓器提供を申し出る件数が増えています。実際に臓器提供が行われた場合には、その後、院内研修会を行い、主治医や担当看護師から臓器提供に至る経過や、新潟県臓器移植コーディネーターからレシピエントの経過や提供者の家族の様子を報告してもらい、院内の他のスタッフとその経験を共有するようにしています。院内においては提供者の意思をかなえることの重要性が浸透していると考えられ、医師からのオプション提示も行われるようになってきました。

また、病院管理部門と協力して、院内臓器提供マニュアルの作成・改訂、児童虐待対策委員会や院内臨床倫理検討会の設置等を行い、院内体制を整えています。



### 院内Coレポート2

新潟大学医学総合病院 移植医療支援センター  
看護師 吉田珠江

平成23年4月より新潟大学医学総合病院において、脳死下および心停止下での臓器提供事案の発生に備えるとともに、これまで本院でも実施してきた臓器移植に関して、院内の移植医療体制を整備し、患者さま・ご家族(ご遺族)のケア、およびそれに携わる医療スタッフを支援することを目的として、国立大学法人で初となる移植医療支援センターが設立された。

当センターのメンバーは、センター部長の高橋公太副病院長、副部長の齋藤和英泌尿器科講師をはじめ、医師・看護師・薬剤師・事務職員の17名で構成されている。

設立してからまだ4カ月の組織であり、当センターのスタッフ自身が移植医療を学ぶところからのスタートではあったが、本院で未経験の脳死下および心停止下臓器提供事案への体制整備は、特に火急かつ重

要課題と考え、新潟県のコーディネーターのご協力の下、力を入れて取り組んでいる。

活動として、まず以前に作成された院内の臓器提供マニュアルを全面的に見直し、その中で院内での脳死および心停止ドナー発生時の連絡体制の再構築、適正な脳死判定を行うための手順を確認するなど、臓器提供が円滑に行われるべく、当センターが中心となって院内体制を整備している。また病院スタッフに向け、臓器提供事案の基礎から実際の流れ、手順、患者さま・ご家族へのケアについての勉強会を少しずつ行い、知識の普及を図っている。さらに患者さまの意思を少しでも多く抽出し、提供したい・提供したくない、という権利が守られるよう、入院時に意思表示カード所持の確認を徹底するとともに、終末期医療の場での意思確認について、患者さま・ご家族の想いを尊重し、かなえられる体制を検討しているところである。

まだまだ当センターも未熟であり、現在は院内全体の体制を整えるべく東奔西走しているところであるが、今後はその段階から一歩前進し、病院全体で患者さま・ご家族を支えていけるケア体制の充実に努めていきたい。

PC・携帯電話からも、  
あなたの意思を登録  
できます

ホームページ  
<http://www.jotnw.or.jp>

モバイルサイト  
  
<http://www.jotnw.or.jp/m>

(社)日本臓器移植ネットワークのホームページで、臓器提供に関する意思が登録できます。確実な提供意思の確認のためぜひ登録をお願いします

## グリーンバッチ運動にご協力ください



グリーンバッチのモチーフは絡み合った枝。ギフトオブライフ(命の贈り物)によって結ばれたドナーとレシピエントという、二つの生命のつながりを表しています。バッチが多くの人の胸に付けられることで臓器移植に対する理解が広がっていくことを願っています。バッチは100円以上のご寄付をくださった方へお渡ししています。関心を持たれた方は当財団までお問い合わせください。

## 県内の臓器提供および移植の状況

### (1) 献腎提供者・献腎移植者・献腎移植待機者の状況

平成23年3月末現在(人)

年度	H10まで	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	累計	
献腎提供者	全国	355	82	65	84	64	86	90	99	103	114	124	77	109	1,452
	新潟県	2	0	1	2	0	5	3	4	4	2	2	3	5	33
献腎移植者	全国	665	148	126	161	118	154	166	175	188	206	231	139	206	2,683
	新潟県	16	2	4	4	2	10	1	7	6	5	5	6	8	76
献腎移植待機者	全国		13,448	13,206	13,013	12,862	12,468	12,328	12,095	11,941	12,025	11,940	12,010	12,201	
	新潟県		479	444	426	401	368	355	351	322	310	292	277	261	

### (2) 献眼登録者・献眼者・移植者・待機者の状況

平成23年3月末現在(人)

年度	H10まで	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	累計	
献眼登録者	全国	1,208,090	29,722	28,202	28,218	20,561	21,374	19,772	17,782	15,659	16,007	17,408	17,500	16,375	1,456,670
	新潟県	17,388	994	1,090	1,209	756	717	566	1,294	693	404	637	455	407	26,610
献眼者	全国	24,240	977	875	872	942	882	882	917	967	995	1,010	961	1,081	35,601
	新潟県	323	7	13	8	7	6	13	10	11	13	7	16	17	451
移植者	全国	36,211	1,591	1,523	1,493	1,509	1,490	1,442	1,404	1,507	1,542	1,634	1,636	1,678	54,660
	新潟県	457	15	18	13	11	12	27	12	14	21	14	26	26	666
献眼待機者	全国		5,540	5,216	5,498	5,028	4,661	4,449	3,924	3,448	3,011	2,769	2,604	2,554	
	新潟県		103	98	101	21	24	24	36	57	62	68	66	67	

### (3) 臓器移植コーディネーターの活動状況(平成22年度)

提供年月	提供状況		移植状況				提供の意思	
	腎臓	眼球	腎臓 県内 県外	眼球 県内 保存	意思表示 カード	眼球登録		
平成22年4月	2	2	1 1	2	無	無		
平成22年4月		2		1 1	無	無		
平成22年4月	2	2	2	2	無	無		
平成22年4月		2		1 1	有	ライブ登録		
平成22年5月		2		2	無	無		
平成22年5月	2	2		2	無	有		
平成22年7月		2		2	有	無		
平成22年8月		2		2	無	無		
平成22年9月		2		2	有	無		
平成22年11月	2	2	1 1		有	無		
平成22年11月		2		2 2	有	無		
平成22年12月		2		2	無	ライブ登録		
平成22年12月	2	2	移植無	2	有	無		
平成22年12月		2		1 1	有	無		
平成23年1月		2		2	無	ライブ登録		
平成23年2月	2	2	1 1	2	無	無		
平成23年3月		2		2	有	無		
提供17件	5人 10腎	17人 34眼	3 8腎	5 25眼	9			

### (4) 人工透析患者の状況

腎不全のため人工透析を行っている患者さんは年々増加しています。(下図)  
腎不全の唯一の根本治療法は腎移植であり、多くの患者さんがこれを待ち望んでいます。



### 財団の活動・運営にご協力ください

#### 【賛助会員加入のお願い】

財団の活動は基本財産の運営益と善意の賛助会費、および寄付金で行っています。賛助会のご加入、ご継続をよろしくお願いいたします。

#### ★賛助会員(年会費)

法人 10,000円  
個人 1,000円

(ご入金郵便振替、または銀行振込でお願いします)

#### ■郵便振替の場合

口座番号 00500-4-76919  
財団法人 新潟県臓器移植推進財団

#### ■銀行振込の場合

北越銀行 県庁支店  
普通口座 237932  
財団法人 新潟県臓器移植推進財団

～皆様のご協力をお願いいたします～

#### 【財団法人新潟県臓器移植推進財団理事名簿】

平成23年10月1日現在

■理事長  
荒川 正昭(新潟県福祉保健部参与)

■副理事長  
阿部 春樹(新潟大学大学院医学総合研究科視覚病態学分野教授)

■常務理事  
下條 文武(新潟大学長)  
高橋 公太(新潟大学大学院医学総合研究科腎臓病態学分野教授)

■理事  
高橋 姿(新潟大学教育研究院医歯学系長)  
成田 一衛(新潟大学大学院医学総合研究科腎臓病態学分野教授)  
内山 聖(新潟県病院協会会長)  
堂前洋一郎(新潟県医師会理事)  
藤井 青(新潟県眼科医会会長)  
甲田 豊(新潟県透析医会会長)  
吉田 和清(新潟県立六日町病院長)  
吉田 和夫(新潟県市長会(胎内市長))  
品田 宏夫(新潟県町村会(刈羽村長))  
白倉 哲男(日本赤十字社新潟県支部事務局長)  
佐藤 和正(新潟県ライオンズ・アイバンク協議会理事長)

#### ■監事

高井 昭三(元新潟県保健衛生センター参事)  
岡 玲子(元(財)新潟県成人病予防協会常務理事(事務局長))

#### 【財団法人新潟県臓器移植推進財団評議員名簿】

平成23年10月1日現在

■評議員  
風間順一郎(新潟大学医学総合病院血液浄化療法部准教授)  
齋藤 和英(新潟大学医学総合病院泌尿器科講師)  
松田 英伸(新潟大学医学総合病院眼科医師)  
柳原 俊雄(新潟県医師会理事)  
森下 英夫(長岡赤十字病院院長)  
佐々木 隆(新潟県腎臓病患者友の会会長)  
田村 征司(新潟県ライオンズ・アイバンク協議会副理事長)  
末武 雅之(新潟県厚生農業協同組合連合会代表理事(理事長))  
石川 学(敬和学園高等学校社会科教諭)  
阿部 俊幸(新潟県保健所長)

#### ■顧問

岩田 和雄(新潟大学名誉教授)  
大石 正夫(白根健生病院眼科部長)